

科目区分	専門教育科目	科目名	レクリエーション理論	科目コード	40507 50701	担当者	井手口弘明
対象学生	介護福祉士コース1年生 幼児教育学科1年生	学期区分	前期	単位数	2	卒業要件 免許・資格要件	選択
科目の主題						成績評価の方法と割合	
レクリエーション・インストラクターの資格取得に向けて、基礎的な理論を学び、レクリエーションの考え方や実践的な力を身につけることを目的とする。						受講態度(40%) 定期試験(60%)	
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標	
						誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)
1.	レクリエーションの制度や意義・目的を理解し、レクリエーション・インストラクターの役割について理解する。					○	
2.	幼年から青壮年・高齢者に至る全ての人のライフスタイルにおいて、豊かな人生づくりを支援するレクリエーションの在り方を理解する。						○
3.	対象者個人のアセスメントに基づいてプログラムを計画し、実施、評価する実際について学習する。						○
授業方法							
教科書を基本として必要に応じてプリントを使用し、板書をしながら講義形式で行う。事例やエピソードを取り入れながらわかりやすく説明を行う。							
準備学修(予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)							
「レクリエーション=楽しさ」を理解し、日頃から笑顔で人と接するように心がける。レクリエーションの発祥の地としての長崎の歴史や、高齢社会でのレクリエーションについて文献に目を通しておく。							
授業計画							
第1回	I. レクリエーションの基礎理論 第1章 レクリエーションの意義 1.レクとは?						
第2回	2.レク運動の歴史とその背景 3.レクへの期待 4.「支援者」にとってのレク						
第3回	第2章 レクリエーション運動を支える制度 1.レク運動の使命 2.公認指導者制度 3.レク組織						
第4回	第3章 レクリエーション・インストラクターの役割 1.レク支援の考え方 2.レクリエーション・インストラクターに期待される役割 3.学習課題の概要						
第5回	II. レクリエーション支援論 第1章 ライフスタイルとレクリエーション						
第6回	第2章 高齢社会の課題とレクリエーション 1.高齢社会の課題						
第7回	2.個人への働きかけ 3.集団への働きかけ 4.環境への働きかけ						
第8回	第3章 少子化の課題とレクリエーション						
第9回	個人への働きかけ 集団への働きかけ 環境への働きかけ						
第10回	第4章 地域とレクリエーション						
第11回	III. レクリエーション事業論 第1章 レクリエーション事業とは						
第12回	第2章 事業計画I						
第13回	第3章 事業計画II						
第14回	第4章 レクリエーション活動の安全管理						
第15回	IV. コミュニケーション・ワーク ホスピタリティとは、アイスブレイキングの意義						
教科書・参考書				受講生へのメッセージ			
「レクリエーション支援の基礎」 (財)日本レクリエーション協会編				レクリエーションは支援者一人ひとりの「楽しさ・心地よさ」を活用した取り組みが充実していくことによって達成されると考えられます。それゆえに、これからレクリエーションを始める皆さんに、とても大きな期待をしています。			